

報道関係各位

4月1日 三陸鉄道北リアス線(田野畑～久慈間)ついに運転再開 東北・三陸海岸復興応援ツアー2種実施

～クラブツーリズムオリジナルヘッドマークつきの列車で、三陸鉄道運転再開区間を乗車～

クラブツーリズム株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:岡本邦夫、以下クラブツーリズム)は、4月1日(日)の三陸鉄道北リアス線田野畑～久慈間の運転再開をきっかけに、昨年9月から発売していた三陸海岸復興応援ツアーをリニューアルし、新たな三陸復興応援ツアー2種を実施します。

クラブツーリズムでは、昨年9月以来、三陸復興応援ツアー「鉄道旅情東北『絆』でつなぐ三陸路2日間」を実施し、2,000名以上を送客してきました。このツアーは、優れた鉄道旅行を選ぶ「鉄旅 OF THE YEAR」(鉄旅オブザイヤー実行委員会主催)で、実際の復興支援につながっていることなどが評価され、「東北応援賞」を受賞しています。このたび、三陸鉄道北リアス線の運転再開をきっかけに、当ツアーをリニューアルし、三陸鉄道運転再開区間に乗車、また、復旧を続ける被災地各地を訪れる「絶景!南三陸温泉『ホテル観洋』に宿泊『絆』で結ぶ 陽光きらめく三陸鉄道・浄土ヶ浜・松島3日間」、「新緑と大海原が輝くベストシーズン到来!浄土ヶ浜・北山崎・三陸鉄道『絆』でつなぐ三陸路2日間」の2種のツアーを、4月より実施します。



クラブツーリズム
オリジナルヘッドマーク



三陸鉄道
(イメージ)



三陸鉄道
(イメージ)

【本ツアーのポイント】

- クラブツーリズムオリジナルヘッドマークつきの列車で三陸鉄道北リアス線の運行再開区間を乗車
田野畑村、岩手県沿岸広域振興局の協力のもと、4月1日(日)に運転を再開する田野畑～陸中野田間を含む区間を、クラブツーリズムのヘッドマークを装着した列車に乗車。運転再開区間からは、三陸のリアス海岸の絶景など、素晴らしい眺望を堪能できます。
- 「津波体験語り部ガイド」による震災当日の様子や実体験を聞きながら、復旧を続ける被災地を視察
いずれのツアーも、被害の大きかった田野畑、陸前高田を「語り部ガイド」と歩くことで、震災当日の様子や復旧を続ける被災地の「今」を知ることができます。

当プランは、2012年4月から2014年4月まで約2年間の実施を予定しており、クラブツーリズムでは、三陸鉄道北リアス線の全線開通まで、長期的な復興支援を行ってまいります。

◆報道関係のお問合せ先

クラブツーリズム 広報担当: 株式会社プラップ ジャパン 担当: 小竹 茜、中村 由帆

TEL: 03-4580-9105 FAX: 03-4580-9131 E-mail: club-tourism@ml.prap.co.jp

クラブツーリズム株式会社 総務部広報課 担当: 久保田 智子、木村 佳世

TEL: 03-5323-6875(月～金 9:15～17:30/土日祝除く) FAX: 03-5323-6956 E-mail: ctpr@club-tourism.co.jp

<がんばろう三陸！ 応援ツアー>

- プラン名称: 絶景！南三陸温泉「ホテル観洋」に宿泊 「絆」で結ぶ
陽光きらめく 三陸鉄道・浄土ヶ浜・松島 3 日間
- コース番号: 27180-140
- 出発日: 4月:1、4、8、11、15、18日
5月:9、13、16、20、23、27、30日
6月:3、6、10、13、17、20、24、27日
- 出発地: 東京駅、上野駅、大宮駅発
- 旅行代金: 39,800円(2泊3日、大人1名 4名1室)
- ツアーのポイント:
 - ・三陸鉄道・北リアス線の、4月1日に復旧する区間を含む久慈-普代間に乗車
 - ・津波から地域を守った松島の島々を遊覧船から見物
 - ・船長が命懸けで津波から守った一艘の遊覧船で宮古湾周遊
 - ・現地ガイド同行で、陸前高田の震災当日の説明を聞きながら、津波に耐えた名勝・高田松原の「奇跡の一本松」や被災エリアの復興状況を視察
 - ・目の前に絶景が広がる、南三陸温泉「ホテル観洋」に宿泊

- プラン名称: 新緑と大海原が輝くベストシーズン到来！
浄土ヶ浜・北山崎・三陸鉄道「絆」でつなぐ三陸路 2 日間
- コース番号: 27185-140
- 出発日: 3月:31日
4月:1、6、7、8、13、14、15、20、21、22日
5月:6、11、12、13、18、19、20、25、26、27日
6月:1、2、3、8、9、10、15、16、17、22、23、24、29、30日
7月:1日
- 出発地: 東京駅、大宮駅発
- 旅行代金: 29,800円～34,800円(1泊2日、大人1名 1～2名1室)
- ツアーのポイント:
 - ・三陸鉄道・北リアス線の4月1日に復旧する区間を含む久慈-田野畑間に乗車
 - ・船長が命懸けで津波から守った一艘の遊覧船で宮古湾周遊
 - ・「津波体験語り部ガイド」による震災当日の様子や実体験を聞きながら、日々復旧し続ける被災地を視察
 - ・八戸名物「朝市」の見物